

SKYキャリア育成合宿実績・評価

1. 取組等の結果及び具体的実績

期日：平成 30 年 9 月 5 日（水）・6 日（木）

会場：マイワサンピア

参加人数：新潟国際情報大学 12 名

新潟青陵大学短期大学部 10 名

協力企業：株式会社アークベル モトーレン新潟株式会社 株式会社タカヨシ 株式会社堀川
株式会社ウォロク 株式会社大光銀行 イワツキ株式会社

スケジュール：

9月5日（水）		9月6日（木）	
プログラム	時間	プログラム	時間
オリエンテーション	9:00～9:10	アイスブレーク	9:00～9:20
目標発表	9:10～9:40	ディベート	9:20～10:50
名刺交換①	9:40～9:50	企業へ個人ワーク発表	11:00～11:40
バス出発	10:00～	企業課題発表会	11:40～12:20
企業見学①	10:30～12:00	昼食	12:30～13:20
昼食	12:30～13:30	企業担当者との情報交換	13:30～15:30
企業見学②	14:00～15:00	合宿まとめ・アンケート	15:40～16:10
個人ワーク	16:00～17:00	個別発表	16:10～16:30
名刺交換②	17:00～18:00	閉会・総評	16:30～17:00
夕食	18:00～		
企業課題研究	19:30～21:00		

1) 目的

合宿をとおして、学生一人ひとりが課題を持って取り組むことで主体性を身に付け、他者からの意見や考え方を取り入れながら、自分自身の性格や適性を考えさせるとともに、自分のキャリアプランを描く力を身につけさせる。

2) 具体的な目標

- ①コミュニケーション力を高める
- ②主体性を発揮できる行動力を身につける
- ③学生が企業見学を通して働く事の意義を考える

2. 取組等に対する成果

参加学生は他大学生との交流を通しての学びがあった。

特に成果発表におけるグループワークにおいて、意見のすり合わせや、まとめ方等は各自の個性をだしながら、成果に結びつけることができ、そこからのコミュニケーション能力や団結力などの成長が見られた。本年度の企業の課題が難しく、全チームが時間内で完結できず、深夜まで

の作成となつた。2日目の企業を迎えるにあたり、各チームが発表の予行練習に余念がなく取り組んでいた。

成果発表寸評として、①課題解決の糸口をどの視点から成果の見つけ方を工夫していた（モトーレン）、②会社訪問時に「付加価値」の質問が少なく企業側が考えていることと相違が出ると思っていたが、市場調査、顧客目線など合致しており素晴らしい発表でした。（イワツキ）、③洗浄機の委託業務は考えられなかつた。ハードルは高いが検討価値がある。（ウオロク）、④web結婚式は未来型の式になるかもしれない。現代のネットワークを利用した思い付きに驚きました。（アーチベル）、⑤もの、ことづくりの考え方を熟知してくれた。新潟名産をいかにアピールし成果に結びつける過程を工夫していた。今回の課題は難しかつたと思う。（タカヨシ）

3. 取組等に対する評価

- ①企業訪問時間が短い
- ②企業情報交換会に時間を多く
- ③グループワークに時間が足りない
- ④時間の余裕が欲しいなど意見があつた。

4. 今後の課題と予定

1) 次年度に向けての整理

- ①人間教育(キャリア)or 就職教育
- ②会場設定
- ③スケジュールの検討（時間、内容など）
- ④企業交流の検討
- ⑤学生動員

2) 来年度検討課題

- ①⇒この合宿はSKYプロジェクトに含まれており、県内企業とのコラボが必須条件。
会場変更もあり、実施内容の大幅な変更が必要である。
低学年参加もあり、人間教育の場、もしくは就職に重点を置いた内容の何れかで開催するのか。
- ②⇒ホテルを会場とした場合。宿泊費8千円程度（勉強会合宿専用メニュー対応）その他、候補地の検討
- ③⇒会場変更の為、企業訪問を実施する、実施しない
- ④⇒交流方法・従来通り場合の訪問手段の検討。訪問しない場合の交流方法
- ⑤⇒学生動員・初期募集時期、目標数、ガイダンスなど
- ⑥⇒その他検討課題
 - 定員数の検討
 - 参加費の検討